発掘成果をふりかえって 1995

http://www.kyoto-arc.or.jp (財) 京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館

私たちが住んでいる京都は、遠く 1万年以上も前から人々が生活を 始めています。そして、地面の下に はさまざまな時代の人々の活動の 跡(遺跡)が残っています。これら の遺跡を、実際に地面を掘り下げ て、生活した跡(遺構)や、使っ ていた道具など(遺物)を調べるの が発掘調査です。こうした作業を積 み重ねていくことによって、昔、そ こがどの様な所だったのか、その 時代の人達の暮らしの様子が少し ずつわかってきます。

今年も京都市内で、平安京跡をは じめとして、多くの発掘調査や立会 調査が行なわれ、さまざまな遺構や 遺物を発見しました。ここでは、そ れらの成果の中から主だったもの を紹介しましょう。



1 北白川廃寺塔跡 左京区北白川東瀬ノ内町

創建当初(七世紀後半)は瓦積み基壇だったが、後に乱石積み基壇にかわっている。基 壇中央の窪みは塔心礎の抜き取り痕跡(北から)。



2 水垂遺跡 伏見区淀樋爪町

古墳時代中期の竪穴式住居で、内部周辺に高まりを持ち、住居の外側には溝がめぐる (北西から)。



3 白河街区跡 左京区岡崎最勝寺町

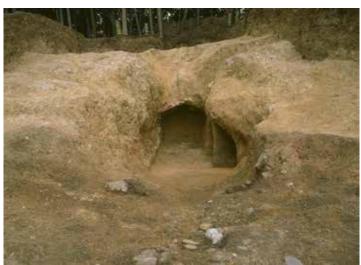
平安時代後期、尊勝寺関連建物の雨落ち溝(東から)。



4 法金剛院旧境内 右京区花園扇野町 平安時代後期の塔跡と池跡 (西から)。



5 平安京左京七条二坊(本圀寺跡)下京区柿本町 戦国時代の本圀寺東限の堀(北から)。



6 日ノ岡堤谷須恵器窯跡 山科区御陵黒岩 7世紀中頃の窯で、山科窯跡群として初めての本格的な発掘調査 (東から)。



7 平安京左京北辺三坊 上京区中立売通新町西入る 13世紀前半の中国産の白磁四耳壷(高さ24.2cm)。



石器 (長さ8.5cm)。



8 中臣遺跡 山科区栗栖野打越町 9 京都大学構内遺跡群 左京区北白川追分町 後期旧石器時代の国府型ナイフ形 縄文時代晩期の埋葬に使われた深鉢(高さ $38.5 \mathrm{cm})_{\circ}$



調査地点